

種子島の歴史・文化・自然について。

テーマ: ( 広田遺跡 )

写真やイラスト及びその説明 / 場所 (地図上に書き込み, 説明を書く)

※ 注意 ではなく、オリジナリティーを追究し、面白い内容を目指すこと。



~砂丘に眠る美しく装った人々~  
 今から 1700年前、種子島の広田に  
 絡み合う帯状の文様を彫刻した  
 美しい貝製のアクセサリーで身を飾る人々が  
 いまも  
 彼らは、1957-1959年に広田砂丘から  
 掘り起こされ、研究者により、  
 「広田人」と呼ばれてきました。

2006年6月8日 国の重要文化財に指定  
 (貝製装身具)  
 2008年3月28日 国の史跡に指定  
 (広田遺跡)

<おもな遺物>

- ・オオツノハ貝輪
- ・毛がけ玉
- ・有孔円盤状貝製品
- ・竜佩型貝製垂飾
- ・太形ツノがけ玉、マワがけ玉
- ・ゴホウラ貝輪、ヤコウがけ製容器
- ・上層貝符、下層貝符
- ・ガラス小玉



<感想>

小学生のときに行ったことがあるが、  
 今回、朝から行って、新しい発見があった  
 ので、良かった。

広田人の謎

<広田人は低身長>

広田人は平均身長が、男性154.0cm、女性で142.8cm  
 という、著しく低身長の集団でした。  
 (現在の小学校5、6年生の平均身長と同じ。)

<広田人は縄壁頭>

出土した人骨は、(ほとんどの)  
 後頭部が扁平(いわゆる縄壁頭)  
 でした。頭が骨の形状  
 をせる習慣をもっていた  
 可能性が高く、日本列島では  
 他に例がありません。

<珍しい抜歯の習性>

出土した人骨の多くは、上あごの側切歯を  
 1本だけ抜くという珍しい抜歯をしていました。  
 広田人は、成人儀礼として、歯を抜く  
 習慣をもっていたと考えられています。



※ 参考文献/出典 (著者名, 書名, 出版社名, 出版年), HP (サイト名, URL)

(例) ・井元正流『種子島』(春苑堂出版, 平成 11 (1999) 年)

・西之表市役所HP (<http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html>)

site-reports.nabunken.go.jp

評価

A: オリジナルな見解が盛り込まれている。 B: 一通り書けている。 C: 不十分な分量・内容。